

海外先進地行政調査及び姉妹都市提携 30 周年表敬訪問報告書

平成 24 年 10 月 2 日（火）～9 日（火）

派遣議員 近藤正俊（議長）

畔柳秀久（総務企画常任委員長）

今年は、ハンチントンビーチ市と姉妹提携して 30 年に当たり、新井副市長を団長に総勢 21 名が親善団として両市の友好を深める目的で表敬訪問とアメリカの現状を視察した。

■ウェストハリウッド市立図書館（ロサンゼルス市）

昨年 9 月にオープンした新しい施設で、エコとアートデザインを重視した芸術的な建物になっており、子どもや若者の来館を大切に考えたところが多く、電子書籍やインターネットなどのパソコン利用者が 9 割を占める状況で、本のみの利用者は少ないとのことだった。

■サザン・カリフォルニア・エジソン館

南カリフォルニア州全域に電力を供給しており、470 万世帯にスマートメーター機を設置し、各家庭で節電効果が確認できるシステムを採用しており、利用者も、どのように節電するか考え、工夫して取り組んでいた。



■ハンチントンビーチ市表敬訪問及び市内公共施設

ライフガード救援隊本部を訪問し、サーフィン事故に対するレスキュー活動について説明を受けた。年間 1,000 万人のサーファー来場者の中で、レスキュー隊の出動が年間約 5,000 件発生している。また、消防署、警察署、市役所、図書館、シブッリー自然センター、農業施設を視察したが、アメリカの地方自治にも触れることができ、大変充実した視察をすることができた。

翌日は、ホストファミリーのメアリーさんの案内で、アレグリファームの農業施設を視察した。この施設は、約 1,000 m²というわずかな面積で、170 タワー以上使った新しい垂直水耕栽培により 1 万もの植物を育てていた。このバーチグロ水耕は、土を使用し、普通の栽培の 1 割以下の水で、有機栽培の半分ほどの肥料で育つことが特徴である。毎日新鮮な野菜が供給できるそうで、想像していたアメリカの大農場とはかけ離れたものだった。



安城市からは、安祥太鼓の 8 名が 2 回演奏を披露され、素晴らしい日本文化が多くハンチントンビーチの方に感動を与え、堪能してもらえたと感じた。日本から苦労して太鼓を持参して本当に良かったと実感するとともに、安祥太鼓の方々に敬意を表したい。

今回の訪問により、両市の友好親善がより深まったものと確信でき、貴重な体験をいろいろさせていただき、親善団メンバーや国際交流協会に心より感謝申し上げたい。今後とも両市の友好がますます深まることを期待する。